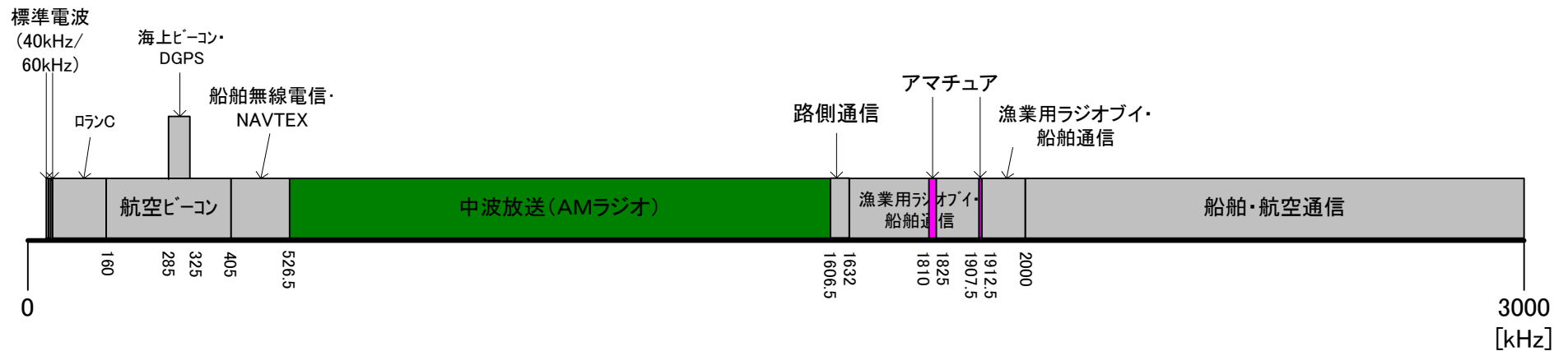


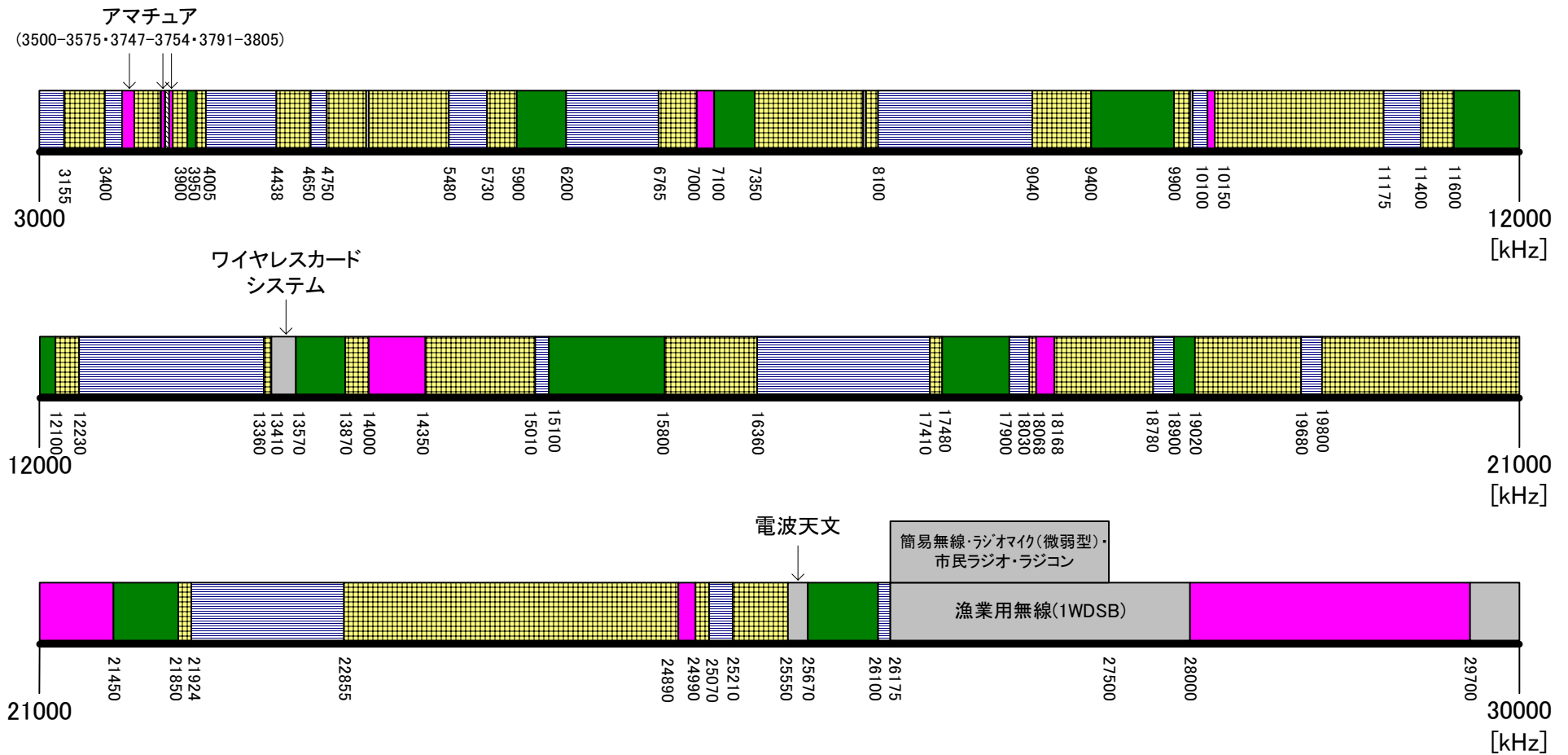
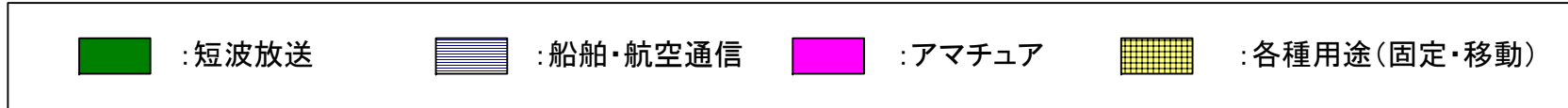
我が国の電波の使用状況

(平成17年7月現在)

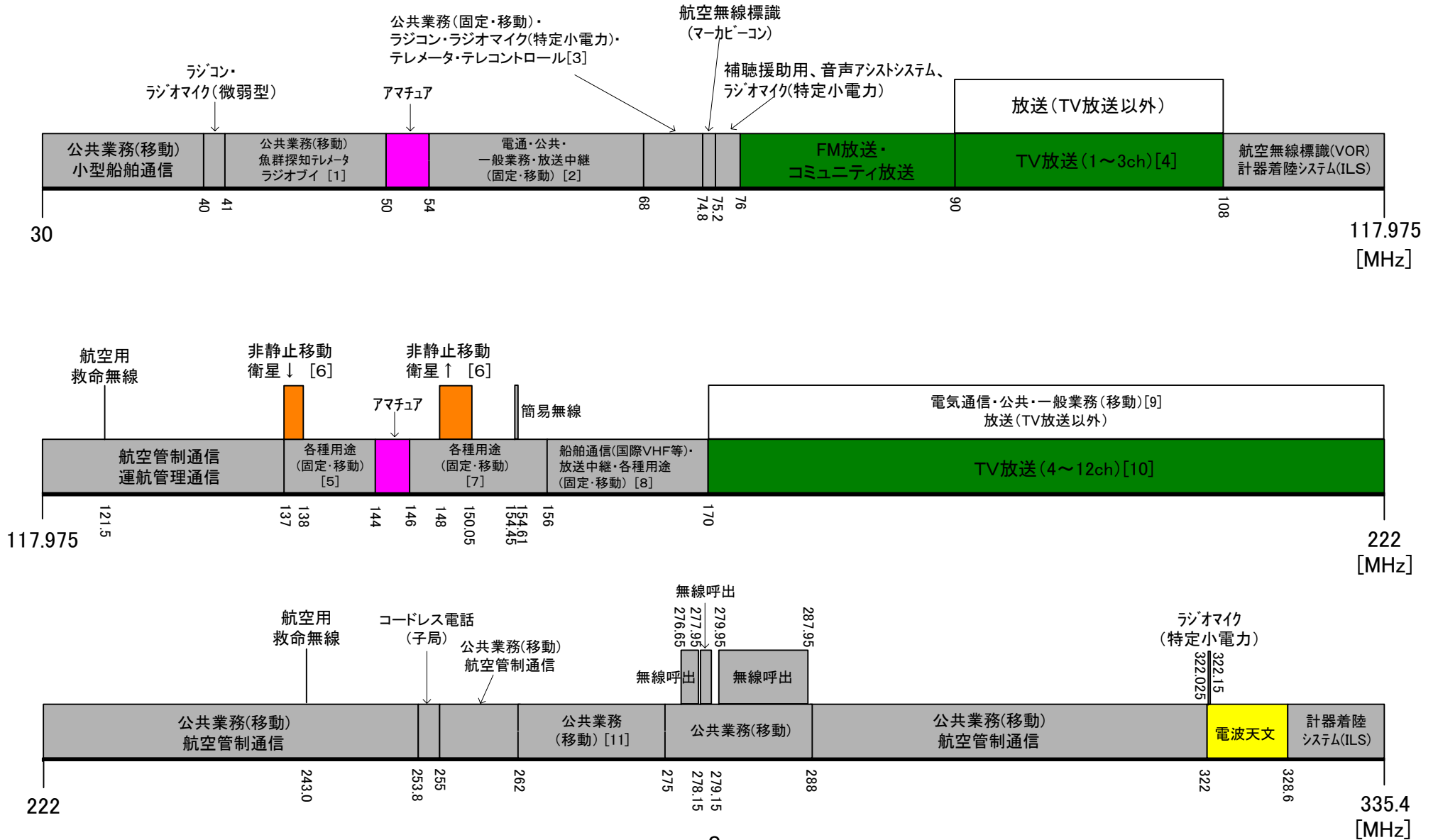
3000kHz以下



3000kHz～30000kHz



30MHz ~ 335.4MHz

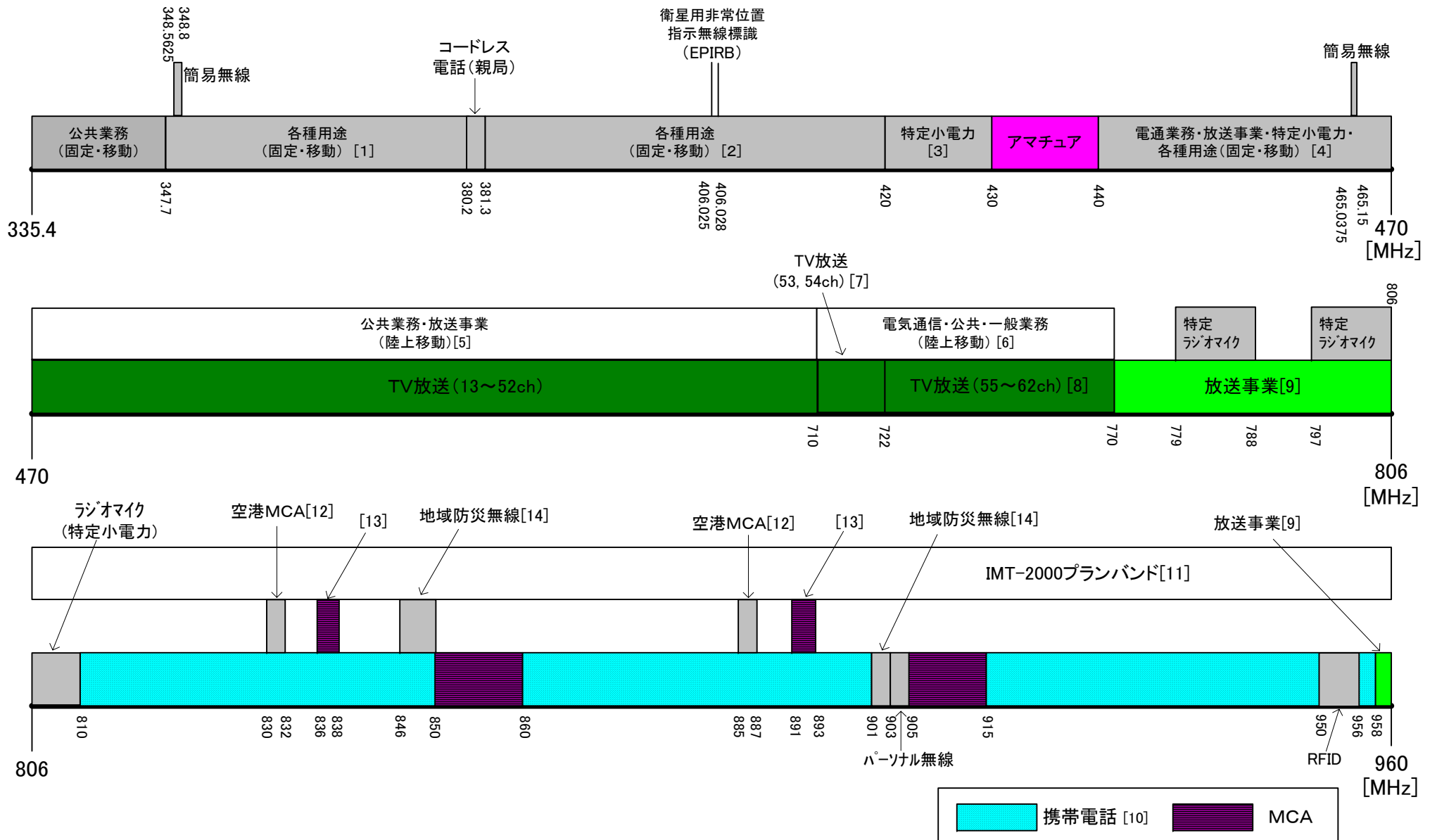


電波の使用状況に関する補足説明

【30－335. 4MHz】

番号	周波数帯(MHz)	主な用途
[1]	41－50	国による公共業務、海上のブイや魚群探知のデータ伝送
[2]	54－68	国及び地方自治体(市町村同報等防災行政無線)による公共業務、放送事業者の音声番組中継
[3]	68－74.8	①気象観測データ伝送や各種機器の遠隔監視・制御 ②模型のラジオコントロール及びワイヤレスマイク
[4]	90－108	テレビジョン放送による使用は、2011年7月24日まで
[5]	137－144	国及び地方自治体による公共業務
[6]	137－138、148－150.05	低軌道周回衛星による移動体衛星通信(オーブコム)
[7]	146－156	国、地方自治体及び電力・ガス・運輸交通等公共機関による公共業務、一般私企業の各種業務
[8]	156－170	国及び運輸交通等公共機関による公共業務、放送事業者の音声放送番組中継、船舶通信(国際VHF、船舶自動識別装置)、一般私企業の各種業務
[9]	170－222	移動業務による使用は2011年7月25日から
[10]	170－222	テレビジョン放送による使用は、2011年7月24日まで
[11]	262－275	市町村等において防災対策や行政サービスに活用できる公共用デジタル移動通信システムに主として利用

335.4MHz～960MHz

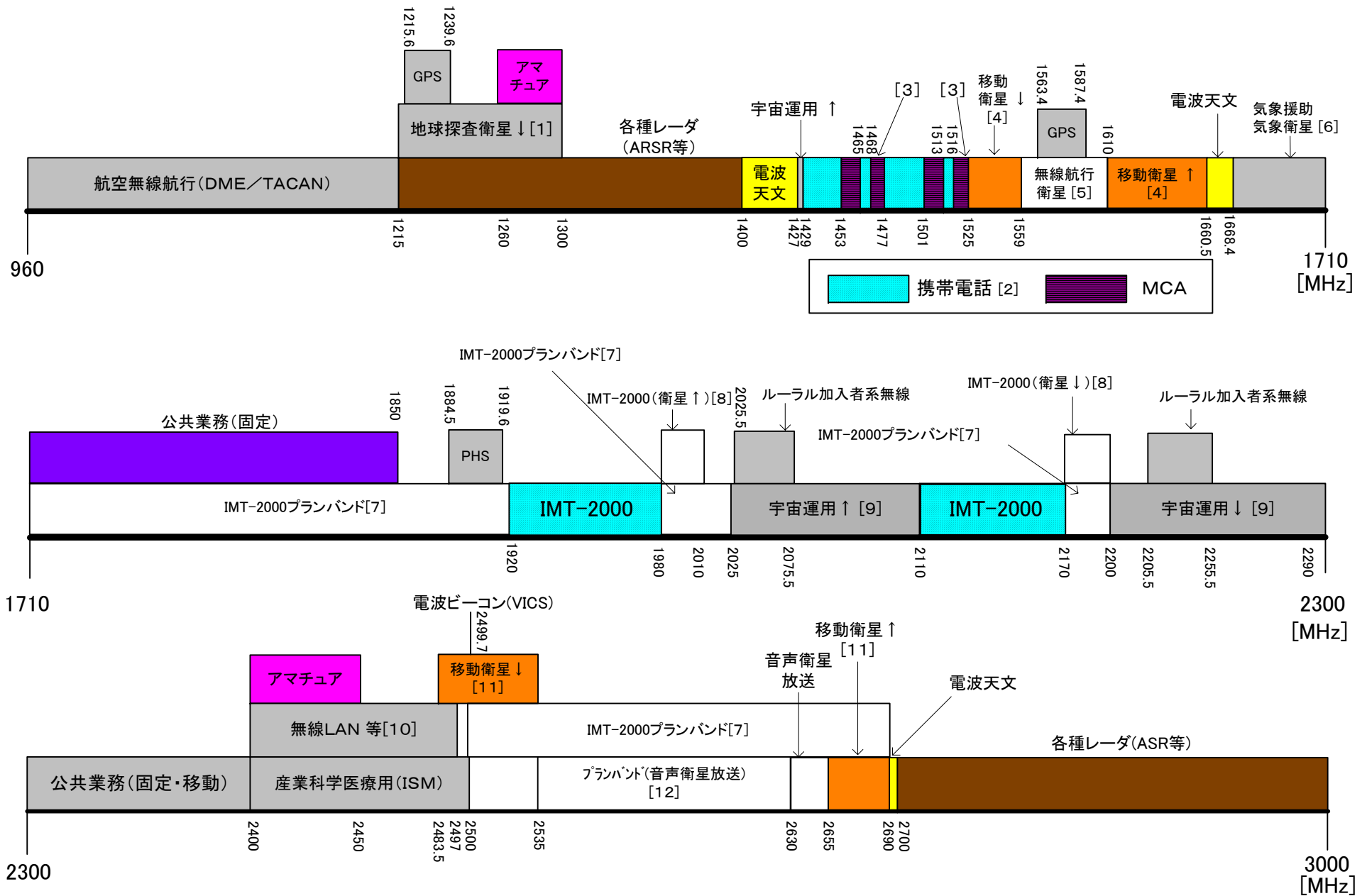


電波の使用状況に関する補足説明

【335. 4－960MHz】

番号	周波数帯 (MHz)	主な用途
[1]	347.7－380.2	国、地方自治体及び電力・ガス・運輸交通等公共機関による公共業務、一般私企業の各種業務
[2]	381.3－420	NTT東西の加入者線災害対策臨時電話、国及び地方自治体並びに運輸交通等公共機関による公共業務、一般私企業の各種業務
[3]	420－430	連絡無線、データ伝送装置、医療用テレメータ等の免許を要しない無線局(特定小電力無線局)
[4]	440－470	①タクシー無線、鉄道・バス等の貨客運送事業、NTT東西の加入者線災害対策臨時電話、放送事業者の音声番組中継 ②連絡無線、データ伝送装置、医療用テレメータ等の免許を要しない無線局(特定小電力無線局)
[5]	470－710	陸上移動業務による使用は 2012 年 7 月 25 日から
[6]	710－770	陸上移動業務による使用は 2012 年 7 月 25 日から
[7]	710－722	放送業務による使用は 2006 年 7 月 24 日までに見直す。
[8]	722－770	放送業務による使用は 2012 年 7 月 24 日まで
[9]	770－806	放送事業者が TV 番組中継として利用
	958－960	放送事業者が音声番組中継として利用
[10]	810－850、860－901 915－958	携帯電話
[11]	806－960	IMT-2000 の地上系に分配された周波数帯
[12]	830－832、885－887	空港 MCA による使用は 2010 年 5 月 31 日まで
[13]	836－838、891－893	MCA による使用は 2007 年 5 月 31 日まで
[14]	846－850、901－903	地域防災無線による使用は 2011 年 5 月 31 日まで

960MHz～3000MHz

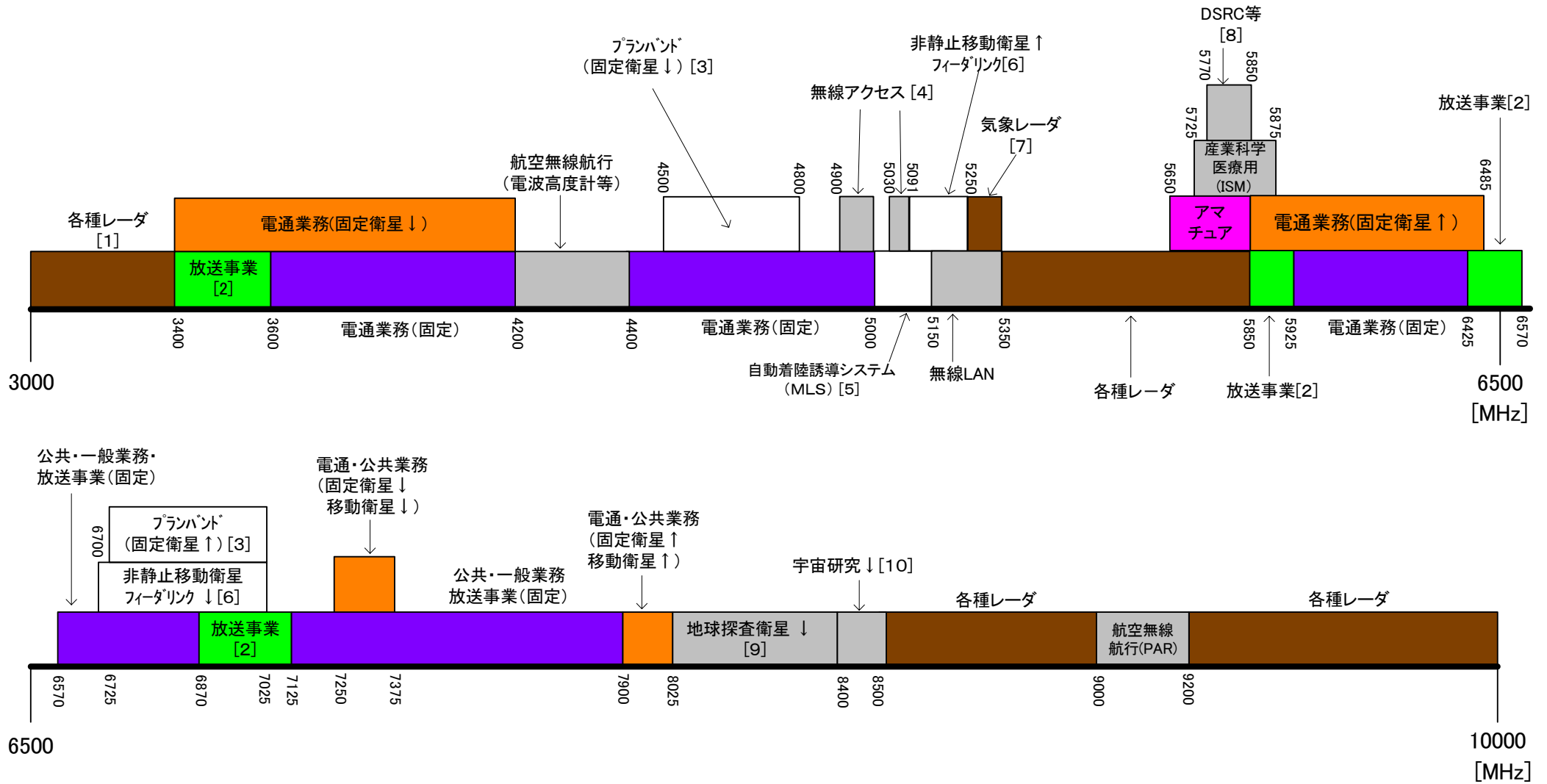


電波の使用状況に関する補足説明

【960－3000MHz】

番号	周波数帯(MHz)	主な用途
[1]	1215－1300	宇宙開発事業団の陸域観測衛星等で利用
[2]	1429－1453、1465－1468、 1477－1501、1513－1516	携帯電話
[3]	1468－1477、1516－1525	MCAによる使用は2009年5月31日まで
[4]	1525－1559、1610－1660.5	インマルサット衛星等による移動体衛星通信サービス
[5]	1559－1610	国土交通省のMTSAT衛星による航空管制システム
[6]	1668.4－1700	気象衛星のデータ伝送又は気象ラジオゾンデ
[7]	1710－2025、2110－2200、 2500－2690	IMT-2000の地上系に分配された周波数帯 電気通信事業者が1920～1980MHz／2110～2170MHzでIMT-2000として利用
[8]	1980－2010、2170－2200	IMT-2000の衛星系に分配された周波数帯
[9]	2025－2110、2200－2300	宇宙航空研究開発機構の衛星及びロケットの追跡管制
[10]	2400－2483.5、2471－2497	無線LANなど小電力データ通信システム、移動体識別(2400－2483.5MHz)
[11]	2483.5－2535、2655－2690	移動体衛星通信サービス
[12]	2535－2630	将来の衛星デジタル音声放送(DAB)の国際的なプランバンドとして分配された周波数帯

3000MHz～10000MHz

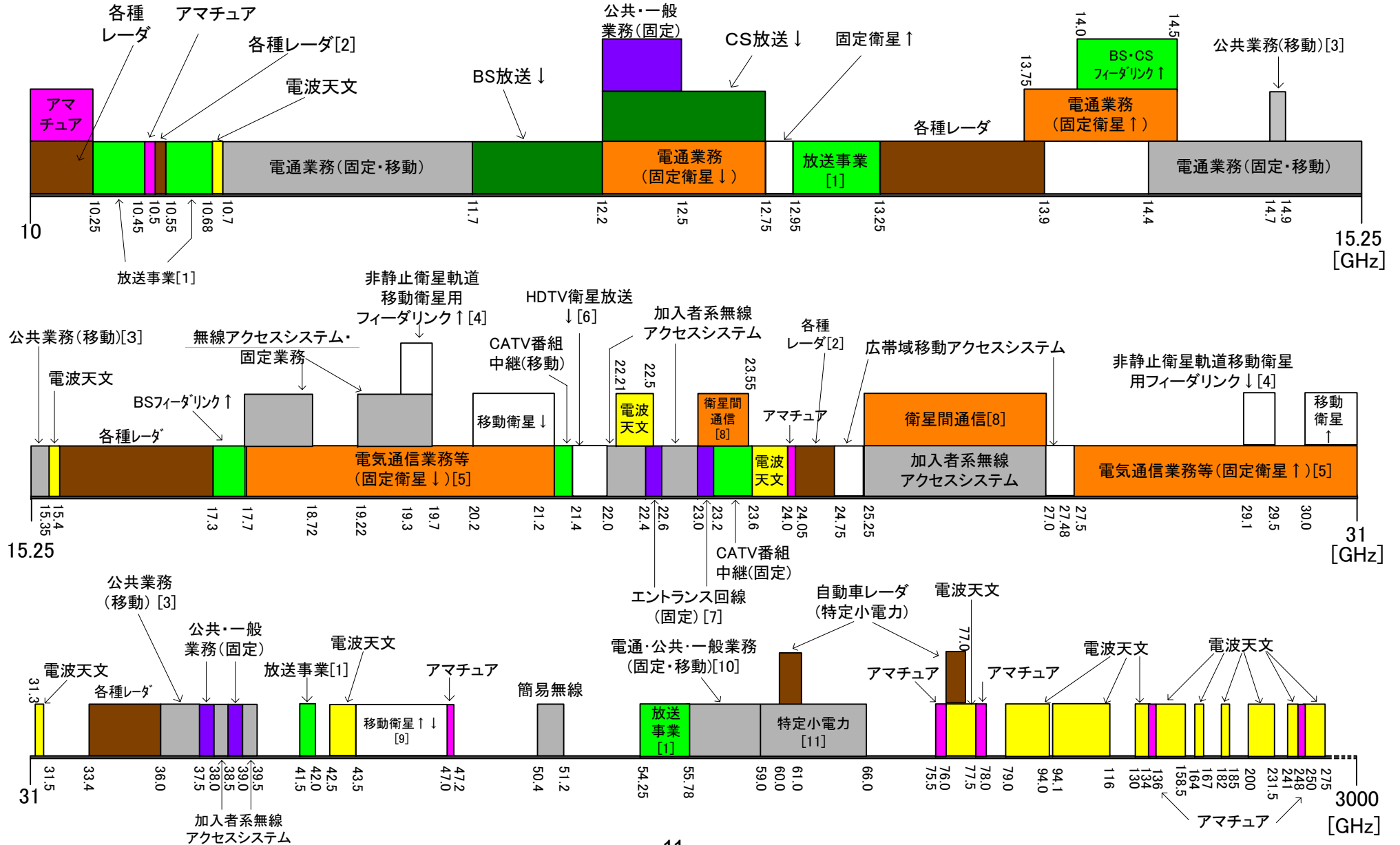


電波の使用状況に関する補足説明

【3000－10000MHz】

番号	周波数帯(MHz)	主な用途
[1]	3000－3400	主として船舶の航行用レーダ
[2]	3400－3600	放送事業者が音声又は TV 番組中継として利用
	5850－5925、6425－6570 6870－7125	放送事業者が TV 番組中継として利用
[3]	4500－4800、6725－7025	固定衛星業務用の国際的なプランバンド
[4]	4900－5000、5030－5091	無線アクセスシステムに使用。5030－5091MHz は 2007 年 11 月末まで使用可能。
[5]	5000－5150	将来の航空機自動着陸誘導システム(MLS)のために保留
[6]	5091－5250、6700－7025	低軌道周回衛星のフィーダリンクに分配された周波数帯
[7]	5250－5350	公共機関等の気象レーダ
[8]	5770－5850	DSRC、画像伝送(特殊業務用)として利用
[9]	8025－8400	地球探査衛星からのデータ伝送として利用
[10]	8400－8500	科学衛星からのデータ伝送として利用

10GHz超



電波の使用状況に関する補足説明

【10GHz超】

番号	周波数帯(GHz)	主な用途
[1]	10.25－10.45 10.55－10.7 12.95－13.25 41.5－42.0	放送事業者がTV番組中継として利用
	54.25－55.78	放送事業者が放送素材中継として利用
[2]	10.5－10.55、24.05－24.25	速度測定等のレーダとして利用
[3]	14.7－14.9 15.25－15.35 36.0－37.5	公共機関が画像伝送として利用
[4]	19.3－19.7、29.1－29.5	低軌道周回衛星による移動体衛星通信用フィーダリンク
[5]	19.7－21.2、29.5－31.0	宇宙開発事業団がデータ中継衛星に使用、技術試験衛星Ⅷ型での使用を検討中
[6]	21.4－22.0	2007年以降HDTV衛星放送に使用を予定
[7]	22.4－22.6、23.0－23.2	携帯電話等の交換局と基地局間の中継回線
[8]	23.0－23.55、25.25－27.0	宇宙開発事業団がデータ中継衛星に使用
[9]	43.5－47.0	宇宙開発事業団が移動衛星業務での使用を検討中
[10]	55.78－59.0	高速無線回線システムで使用
[11]	59.0－66.0	ミリ波画像伝送システム及びミリ波データ伝送システムで使用